

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード	3132547000	開講キャンパス	泉
授業開講年度	2018年度		
科目コード	5102129919	科目分類	専門科目
科目名称	原典講読 A		
科目英字名称	Reading of Original Texts A		
単位数	1.0		
履修期	前期授業	抽選対象	対象外
代表教員番号	1110382	シラバス投稿状況	投稿完了
担当者	小林 睦		
テーマ	「トロリー問題」の倫理学		
講義内容	<p>今年度は、現代倫理学にかんする文献を原書（英語）で読みます。</p> <p>テーマは「トロリー（路面電車）問題」です。これは、倫理学では有名な思考実験で、次のようなものです。「一人の男が線路脇に立っていると、暴走列車が自分に向かって突進してくるのが目に入る。ブレーキが故障しているのは明らかだ。前方では、五人の男たちが線路に縛りつけられている。何もしなければ、五人は列車に轢かれて死ぬ。幸い、男の傍らには方向指示スイッチがある。そのレバーを倒せば、制御を失った列車を目の前にある分岐線に引き込める。ところが残念ながら、思いがけない障害がある。分岐線には一人の人が縛りつけられているのだ。列車の進路を変えれば、この人を殺す結果になるのは避けられない。どうすればいいのだろうか？」</p> <p>トロリー問題については、さまざまなバリエーションがあり、それを検討することにより、倫理的な行為の判断基準について、深く考えることができます。</p> <p>授業の進め方は以下の通りです。（１）毎回担当者を決め、決められた範囲のテキストを訳読してもらいます。（２）担当者以外の参加者は、予定された範囲のテキストを読み、疑問点を箇条書きにしたものを、質問レポートとして授業時に提出してもらいます。（３）以上をふまえて、テキストの解釈や内容について参加者全員で討論を行ないます。</p> <p>本年度は以下のテキストの抜粋を読んていきます。</p> <p>David Edmonds, Would You Kill the Fat Man ? : The Trolley Problem and What Your Answer Tells Us about Right and Wrong (2014) David Higham Associates Ltd., London.</p> <p>なお、このテキストには以下の翻訳がありますので、授業の際には参考にして下さい。デイヴィッド・エドモンズ著（鬼澤忍訳）『太った男を殺しますか』（太田出版）。</p>		
達成目標	<p>〈教育目標〉現代倫理学の基本文献を講読することで、その内容を原典に即して理解し、倫理的な思考力を高めることができる。</p> <p>〈到達目標〉「トロリー問題」という思考実験を通して、人間の行為の善し悪しについての異なる判断基準を知ることにより、それぞれ</p>		

	の基準の利点と欠点を理解することができるようになる。
授業計画 第1回	【事前学修】シラバスを読んでくること。 【授業内容】Ch.1 Churchill's Dilemma 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第2回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.1 Churchill's Dilemma 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第3回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.2 Spur of the Moment 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第4回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.2 Spur of the Moment 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第5回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.3 The Founding Mothers 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第6回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.3 The Founding Mothers 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第7回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.3 The Founding Mothers 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第8回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.3 The Founding Mothers 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第9回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.5 Fat Man, Loop, and Lazy Susan 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第10回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.5 Fat Man, Loop, and Lazy Susan 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第11回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.6 Ticking Clocks and the Sage of K?nigsberg 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第12回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.6 Ticking Clocks and the Sage of K?nigsberg 【事後学修】授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第13回	【事前学修】次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】Ch.7 Paving the Road to Hell

	【事後学修】 授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第14回	【事前学修】 次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】 Ch.7 Paving the Road to Hell 【事後学修】 授業後は、次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。
授業計画 第15回	【事前学修】 次回の授業で扱う範囲のテキストを読み、訳読の準備または質問レポートを作成すること。 【授業内容】 Ch.8 Morals by Numbers 【事後学修】 これまでの授業で扱った範囲からテキストの一部を選択し、翻訳した上で、注釈をつけたレポートを作成すること。
授業計画 第16回	【事後学修】
授業計画 第17回	【事後学修】
授業計画 第18回	【事後学修】
授業計画 第19回	【事後学修】
授業計画 第20回	【事後学修】
授業計画 第21回	【事後学修】
授業計画 第22回	【事後学修】
授業計画 第23回	【事後学修】
授業計画 第24回	【事後学修】
授業計画 第25回	【事後学修】
授業計画 第26回	【事後学修】
授業計画 第27回	【事後学修】
授業計画 第28回	【事後学修】
授業計画 第29回	【事後学修】
授業計画 第30回	【事後学修】

成績評価方法	①担当訳読30%、②質問レポート30% ③授業参加態度20% ④学期末レポート20%		
学修に必要な準備	上記の通り。		
関連して受講することが望ましい科目	哲学・倫理学系科目		
テキスト	上記の通り（コピーを配布します）。		
参考文献	授業時に随時指示します。		
履修上の注意	通年で履修することが望ましい。 オフィスアワー等は開講時に指示する。		
カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	アクティブラーニング科目		
添付ファイル1		説明1	
添付ファイル2		説明2	
添付ファイル3		説明3	
添付ファイル4		説明4	
添付ファイル5		説明5	
関連URL1			
関連URL2			
関連URL3			

教室情報

項番	履修年度	開講期	曜時	使用開講期	教室
1	2018年度	前期授業	木曜 2校時	前期授業	泉) 3 2 I 講義室

カリキュラム情報

項番	学生区分 所属区分	学部 学科 専攻・コース	適用入学年度
1	学部生 学部生	教養学部 言語文化学科	2011年度～2011年度
2	学部生 学部生	教養学部 言語文化学科	2012年度～2012年度
3	学部生 学部生	教養学部 言語文化学科	2013年度～2014年度
4	学部生 学部生	教養学部 言語文化学科	2015年度～2016年度
5	学部生 学部生	教養学部 言語文化学科	2015年度～2100年度
6	学部生 学部生	教養学部 言語文化学科	2017年度～2100年度
7	学部生 学部生	教養学部 言語文化学科 ドイツ語コース	2011年度～2011年度
8	学部生 学部生	教養学部 言語文化学科 ドイツ語コース	2012年度～2012年度
9	学部生 学部生	教養学部 言語文化学科 ドイツ語コース	2013年度～2014年度

10	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2016年度
11	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2100年度
12	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～
13	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2017年度～2100年度
14	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2011年度～2011年度
15	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2012年度～2012年度
16	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2013年度～2014年度
17	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2016年度
18	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2100年度
19	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～
20	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2017年度～2100年度
21	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2011年度～2011年度
22	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2012年度～2012年度
23	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2013年度～2014年度
24	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2016年度
25	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2100年度
26	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～
27	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2017年度～2100年度
28	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2011年度～2011年度
29	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2012年度～2012年度
30	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2013年度～2014年度
31	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2015年度～2016年度
32	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2015年度～2100年度
33	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2015年度～
34	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2017年度～2100年度

戻る(X)